専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	3finger picking			授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection Ⅰ,Ⅱ		年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベースコース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年。MI Hollywood卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太朗、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライヴ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法の授業を行う。					

授業概要

3本の指ではじく「3フィンガー」のテクニックを確実に身につけるための基礎的なトレーニングを中心としたプログラム。

到達目標

3フィンガーピッキングを身に付け、なめらかで速いフレージングや、3本でなければ不可能な弦とびフレーズなどの習得。

授業計画・内容	
1回目	Intoroduction・・・様々な3finger picking、指順など。3finger pickingの目的、効果など
2回目	Basic Training①・・・薬指の強化。 Basic Training②・・・スピードアップ、3連
3回目	Basic Training③・・・レイキング、スクロールトレーニング。 Basic Training④・・・16th note、トレーニング
4回目	Phrases①・・・高音弦での速弾き
5回目	Phrases②・・・下降フレーズでのレイキング
6回目	Phrases③・・・アルペジオ
7回目	Phrases④・・・弦とびフレーズ
8回目	まとめ、review、Test課題曲発表
9回目	課題曲を演奏
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Pick Bass		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年。MI Hollywood卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太朗、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライヴ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				

授業概要

ピック＝ロック、だけじゃなく様々なニュアンスを表現できる様になろう。

到達目標

切れの良いピック弾きのテクニックを修得

授業計画・内容	
1回目	Introduction･･･ピックの種類、持ち方、音質、セッティング
2回目	ダウンピッキング･･･基本のスタイル、スピード強化など
3回目	オルタネイト・ピッキング･･･①アップピッキングとその強化　②ピッキングの“順番”　③シンコペーションのピッキング、シャッフルのピッキング
4回目	課題曲①medium 8th･･･ダウンピッキング
5回目	課題曲②　fast 8th･･･オルタネイトピッキング
6回目	課題曲③　16th
7回目	課題曲④　shuffle
8回目	review
9回目	課題曲③を演奏
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	R&B/Soul/Funk ベース研究		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年。MI Hollywood卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太朗、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライヴ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法の授業を行う。				

授業概要

僕のプレイスタイルに最も影響を与えたR&B/Soul/Funkの偉大なベーシストたちのフレーズをわかりやすく紹介。James Jamerson、Chuck Rainey、Jerry Jemmott、Duck Dun etc・・・

到達目標

R&B/Soul/Funkの偉大なベーシストたちのフレーズを理解し自分のものにする

授業計画・内容	
1回目	8th Groove①
2回目	8th Groove②
3回目	16th Groove①
4回目	Shuffle Groove①
5回目	Swing 16th Groove①
6回目	6／8 Groove
7回目	7／8 Groove
8回目	まとめ
9回目	課題曲演奏
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Various Grooves（ワールドビート）		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：20年。MI Hollywood卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太朗、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライヴ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				

授業概要

様々なジャンルの音楽やグルーヴを体験してみたい人に。Samba、Bossa Nova、Reggae、Afro/Cuban etc…

到達目標

世界の色々なGrooveに触れる

授業計画・内容	
1回目	Samba/Bossa Nova①ベーシックなリズムと奏法
2回目	Samba/Bossa Nova②課題曲を演奏
3回目	その他のBrazil系Grooveの奏法、課題曲演奏
4回目	Reggae①ベーシックなリズムと奏法
5回目	Reggae②課題曲を演奏
6回目	Salasa①成り立ち、様々なリズム
7回目	Reggae②課題曲を演奏
8回目	African①成り立ち、様々なリズム
9回目	African②課題曲を演奏
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ベースソロのいろは。		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：15年。Jazz/Fusionを中心としたオールラウンダースタイルでジャンルを問わずさまざまなライブ、レコーディングに参加。著書に「DVD&CDでよくわかる!はじめてのスラップ・ベース」リットーミュージック。前記経験を活かし、ベースソロのアプローチ方法を教える。				

授業概要

ベースでソロとるのもいいもんですよ。様々なアプローチを勉強してスケール、メロディー、ハーモニーの感覚を養おう！！ 作曲や編曲にも役立つはず。

到達目標

ベースソロをとるための様々なアプローチを身に付ける

授業計画・内容	
1回目	大きく分けた2種類のベースソロスタイルの説明。
2回目	ブルースを弾く。モチーフについて。
3回目	コードとスケールのコンセプト。
4回目	ハーモニーグリッド。
5回目	マイナーハーモニー。
6回目	内声のメロディー。
7回目	ビバップフレーズ。
8回目	ベースラインの発展からのソロアプローチ。
9回目	復習・テスト
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じてプリントを配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ロックベース入門		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection Ⅰ	年次	1年次、研究科	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：20年。ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。前記記載の経験を活かし、ベース演奏の授業を行う。				

授業概要

ロックベースに必要な基礎テクニック、及びリズム感を養います。また、ロックの王道「ペンタトニックスケール」を理解し、フレーズネタを紹介していく授業です。

到達目標

ロックベースを研究し、習得する

授業計画・内容	
1回目	ロックのはじまりとR&R王道パターン
2回目	ブリティッシュロックについて
3回目	アメリカンロックについて
4回目	パンクロックについて
5回目	プログレッシブロックについて
6回目	HR&HMについて
7回目	ミクスチャーロックについて
8回目	エモロックについて、スクリーモについて
9回目	まとめとおさらい
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ロック的スラップ vol.1		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年。ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。前記経験を活かし、ベース奏法の授業を行う。				

授業概要

ロックなスラップ講座。簡単かつ、格好よいスラップネタを伝授。理論的なアプローチも試して、フレーズネタを増やしていこう。

到達目標

格好良さだけを追求したロックなスラップの習得。

授業計画・内容	
1回目	ミクスチャーロックとは？ロック的スラップの定義。フォームについて。ロック的スラップwith親指だけ。
2回目	ロック的スラップwith8フィール
3回目	ロック的スラップwith16フィール
4回目	ロック的スラップwithプルだけ
5回目	ロック的スラップwithダブルプル
6回目	ロック的スラップwith6連系
7回目	ロック的スラップwith親指アップダウン
8回目	ロック的スラップwithタッピング
9回目	まとめと実技テスト
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Blues Guitar and Funk Guitar		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20 年 MI Hollywood 卒業後、海外で精力的な音楽活動を行い帰国。MI TOKYO で講師を務める 傍ら、さまざまなアーティストの楽曲制作を行っている。前記記載の経験を活かし、アンサンブルスタイルで各パートのアプローチ方法を教える。				

授業概要

Blues と Funk というジャンルで必要なバッキングやオブリやアドリブソロのテクニックを JAM って学んでいきます！

到達目標

Blues と Funk というジャンルを理解し、演奏できるようにする

授業計画・内容	
1回目	課題曲 Sex Machine / James Brown を学び演奏
2回目	12 bar Blues を学び演奏
3回目	8 bar Blues (Key to the highway)を学び演奏
4回目	課題曲 Give It Up Or Turnit A Loose / James Brown を学び演奏
5回目	課題曲 Sunshine Of Your Love / Cream を学び演奏
6回目	Funk ギターチャートから選んだリズムパターンを使って演奏
7回目	課題曲 One Way Out / The Allman Brothers Band を学び演奏
8回目	課題曲 Chank / John Scofield を学び演奏
9回目	総復習とテスト
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	JAZZ GUITAR Basic1		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース共通				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:22年。浅茅陽子、リューベン辻野、吉弘千鶴子、Sandip Bhattacharya など国内外の多数のアーティストと共演。Jazzを中心に多ジャンルで活動する一方、教則本の執筆も行う。前記記載の経験をを活かしJAZZ演奏を基礎から教える。				

授業概要

JAZZ GUITARへの入門。JAZZに必要なスケールやコード、JAZZ理論、JAZZスタイルのフレージング等、JAZZ GUITARの基礎の習得。続編有！！

到達目標

JAZZ GUITARの基礎の習得。

授業計画・内容	
1回目	JAZZ理論の基礎1
2回目	JAZZ理論の基礎2
3回目	JAZZ理論の基礎3
4回目	Major KeyのII-VにおけるIIm7でのフレージング1
5回目	Major KeyのII-VにおけるIIm7でのフレージング2
6回目	V7におけるオルタード・スケールでのフレージング1
7回目	オーグメントによるフレージング
8回目	Major KeyのII-Vでのフレージング例
9回目	テスト
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じてプリントを配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	JAZZ GUITAR Basic2		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:22年。浅茅陽子、リューベン辻野、吉弘千鶴子、Sandip Bhattacharya など国内外の多数のアーティストと共演。Jazzを中心に多ジャンルで活動する一方、教則本の執筆も行う。前記記載の経験を活かしJAZZ演奏を基礎から教える。				

授業概要

JAZZ GUITAR " Basic 1 " の続編。JAZZ GUITARへの入門。JAZZに必要なスケールやコード、JAZZ理論、JAZZスタイルのフレージング等、JAZZ GUITARの基礎の習得。

到達目標

JAZZ GUITARの基礎の習得。

授業計画・内容	
1回目	△7アルペジオ・パターン
2回目	△7アルペジオ・パターンをもとにした△7コードでのフレージング
3回目	Major Key におけるI△7 でのフレージング
4回目	Minor Key の Two Five における II-7(♭5) でのフレージング
5回目	Minor Key におけるⅠー でのフレージング 1
6回目	Minor Key におけるⅠー でのフレージング 3
7回目	△7アルペジオ・パターンの応用
8回目	Two Five Oneでのブルース・フィーリングによるフレージング
9回目	テスト
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じてプリントを配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	アニソン・アイドル系サウンドの作り方		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:19 年。作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュー ジシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、TV、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。				

授業概要

アニソン・声優系・アイドル系・ゲーム系等のサウンドメイキングには、流行も意識する必要もありますが、コツがあります。作曲 以降のアレンジ(コード進行、シンセ、リズム等)のノウハウを全て実際に使われたデータを元にして解説・伝授します。DTM がで きなくても OK！

到達目標

実際のノウハウや経験談を参考にして、自作曲のアレンジ計画に役立てるようにする。

授業計画・内容	
1回目	声優アイドル系、アップテンポ
2回目	声優アイドル系、バラード
3回目	グループアイドル、アップテンポ
4回目	CM 楽曲、アコースティック
5回目	韓国アイドル、R&B 系
6回目	アニメ系、EDM 系
7回目	ゲームアニメ系、電波系アップテンポ
8回目	アイドルソロ、R&B 系
9回目	グループアイドル、シティポップ
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	コンプとディレイでMix		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年。キーボードプレイヤー、レコーディングエンジニア、CM、ドラマの音源制作で活動中。「世の中のエフェクターはシンセのパラメーターのバラ売り」という考えの音作りが根底にある。前記記載の経験を活かし、サウンドメイキングの授業を行う。				

授業概要

積極的な音作りのツールとしてのコンプの使い方と、あらゆるエフェクトの元であるディレイだけでどこまでMixできるかという内容です。魔法のエフェクトのリバーブは禁止です。

到達目標

DelayとCompでMixの可能性を研究し、応用がきく音作りが出来る様にする。

授業計画・内容	
1回目	例えるならこういうMIX(実際にMIXしてみた物を聴いてみよう)
2回目	RECされた音は実はどういう音なのか?
3回目	Delayという物(原理とパラメータの説明)
4回目	Delayから派生するエフェクトの紹介
5回目	Compという物(原理とパラメータの説明)
6回目	Compで音の距離感がつくれるか?
7回目	楽器別Comp/Delayの使用例・飛びものやSE的な物を作ってみてMIX
8回目	実際にREC・MIX
9回目	課題の素材をMIX。提出
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じてプリントを配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ドラマー出禁！！Vol.1		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ドラムコース以外の全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：17年。SADS、地獄カルテット、SUNS OWLのドラマー。ドラム教則本、地獄のメカニカルトレーニングフレーズの著者。黒夢、B'zなどさまざまなサポートも務める				

授業概要

アンサンブルをする上で、もっとも大事とされるグルーヴやノリ、リズムをもっとよく理解し、本来やりたいパートが上手になるために、ドラムに挑戦してみよう！！様々なリズムを理解し、ノリやグルーヴを体にしみ込ませ、自分のパートに役立てよう！！（特にVoさんいらっしゃーい！！！）

到達目標

アンサンブルをする上で、もっとも大事とされるグルーヴやノリ、リズムをもっとよく理解する

授業計画・内容	
1回目	セットに座わらず、クリックや曲に対して拍がとれるか？とれているか？出された音型がどうなっているのか。音符の長さやノリとは？をレクチャー。
2回目	スティックをにぎり「ドラムってこうやってなり立っているんだ！」を説明、簡単なビートを叩いてみる！
3回目	一般的に言われているビートの説明。前回やってみた8ビートを16ビートにしてみたりさまざまなビートを簡単に説明
4回目	8分音符型の簡単フィルをやってみよー！　8分の音型のビートとフィルで曲を構成してみよー！
5回目	16ビートの基本パターン、両手打ち、片手打ちなど
6回目	さまざまな16ビート、ハネ系、足のW入り、16分音符のアクセント、フレーズ
7回目	シンコペーションとは？簡単なシンコペフレーズに挑戦
8回目	手足のコンビフレーズを入れたフィルを入れてみよう！！
9回目	総復習とテスト
評価方法	試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じて資料を配布

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	みんなでジャムセッション		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:15年。Jazz/Fusionを中心としたオールラウンダースタイルでジャンルを問わずさまざまなライブ、レコーディングに参加。著書に「DVD&CDでよくわかる!はじめてのスラップ・ベース」リットーミュージック。前記経験を活かしジャムセッションのアプローチ方法を教える。				

授業概要

毎週お題(曲)を変えてジャムセッション！！ 最初はコード一発ものから始めて、ミュージシャンがセッションでよく演奏する曲を取り上げてセッション！！カタく考えず、音出してあそびましょう！！

到達目標

ジャムセッションに慣れる

授業計画・内容	
1回目	ジャムセッションでのお約束
2回目	コード1発セッション！
3回目	ブルース進行でセッション！
4回目	ファンク、ソウル、R&B系セッション①
5回目	ファンク、ソウル、R&B系セッション②
6回目	ラテン系セッション！
7回目	ジャズスタンダードセッション①
8回目	ジャズスタンダードセッション②
9回目	まとめセッション！
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じてプリントを配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	レコーディングラボラトリー（録音研究所）		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	MI Tokyo（旧 MI Japan Tokyo）卒。音楽制作会社を起業し代表に就任。 現在、多岐にわたるジャンルのアーティストのレコーディングやライブPA、ポストプロダクションに関わり、その手腕を発揮している。前記経験を活かし、楽曲の解析や分析の手法を教える。				

授業概要

ドラム・ベース・ギター・ヴォーカル・ナレーションなど　色々な楽器や音声をマイクの位置・距離・数などを変えながら様々なアプローチで収録。その録音記録と作業経験を自分自身の力にしていく「研究所」、それが「レコーディングラボラトリー」です。自分の制作作業をグレードアップさせたい人、音の仕組みを勉強したい人みんな集まれ！！

到達目標

いろいろな楽器や音声をマイクの位置・距離・数などを変えながらさまざまなアプローチで収録し、その録音記録と作業経験を自分自身の力にしていく

授業計画・内容	
1回目	準備・ナレーション（マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）
2回目	スネアドラム（マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）
3回目	バスドラム（マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）
4回目	ドラムセット1（マイク1本と2本を聞き比べる。マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。）
5回目	ドラムセット2（マルチマイキングで立ててみる）
6回目	アコースティックギター（マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）
7回目	ギターアンプ1（クリーン・ドライブ・クランチ・ラインの4種類のサウンドを収録。マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。）
8回目	ベースアンプ（ライン・マイクの2種類を収録。マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）
9回目	テスト：レコーディングの一連の作業を一人で行う実技試験
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	英語の歌は難しくない！		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：10年。MI Hollywood卒業。幼少ときからミュージカルで舞台経験を積む。現在は ピアノの弾き語りライブやメジャーアーティストのバックコーラスなどを行っている。前記記載の経験を活かし、英語の発声を含めた英語の歌い方を教える。				

授業概要

英語の歌っていうだけで拒否反応が出てしまう人、本当は歌ってみたいけどなんとなく難しそうだと思ってる人、ちょっとのコツとやり方さえわかれば、ネイティブにも通用する歌に変わります。

到達目標

「英語で歌うのって難しい」という考えをなくす

授業計画・内容	
1回目	Introduction + 曲決め
2回目	英語で歌う時にありがちな勘違いについて
3回目	英語の歌詞を自分の言葉に直してみよう
4回目	Performance + Feedback①
5回目	日本国外のArtistsのperformanceを見てみよう
6回目	英語で歌うときのgroove, dynamicsについて
7回目	Second Performance + Feedback①
8回目	総復習
9回目	発表会
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じてプリントを配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	鍵盤入門～コード編～		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース共通				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：12年。MI Hollywood卒業。帰国後バックミュージシャン・講師として活動中。 お台場合衆国「ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010」The Rootless、アカラ10周年記念コンサートなどで演奏。前記記載の経験を活かし、鍵盤奏法の授業を行う。				

授業概要

こちらはコードを弾く練習。鍵盤を使ってコードを勉強すれば目で見て分かるので、ギターやベースの人も再確認できるよ。コードを覚えたら簡単な曲にもチャレンジしよう！ 初心者向け。

到達目標

譜面を見て弾けるようにする

授業計画・内容	
1回目	1曲目　譜読み
2回目	1曲目　強弱、テンポなどを考えて
3回目	2曲目　譜読み
4回目	2曲目　強弱、テンポなどを考えて
5回目	3曲目　譜読み
6回目	3曲目　強弱、テンポなどを考えて
7回目	全曲復習
8回目	筆記テスト
9回目	レビュー
評価方法	試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じてプリントを配布

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	作曲のためのHarmony1～作曲を始めよう～		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:16年。バークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントやCM音楽も手掛ける。前記記載の経験を活かし、曲作りの授業を行う。				

授業概要

作曲をしながらHarmonyや理論を身に付けていきます。トピック毎に作曲しながら実践していくうちに、今まで自分が何気なく使っていたものや、好きなアーティストが使っていた「音」と出会うこともあります。しっかりとHarmonyを勉強すれば、作曲のみならず編曲・演奏にも必ず役に立ちますし、貴方の可能性を広げてくれることでしょう。トピックをどんどん自分の音楽に取り入れ、イメージを音楽で表現することにおいて「自由」になりましょう！

到達目標

作曲をしながらHarmonyや理論を身に付ける

授業計画・内容	
1回目	Introduction, Pentatonic scale, Blues form　曲創りとは、手軽な作曲法
2回目	Notation,key signature,time signature,Intervals　譜面の読み方、書き方introduction
3回目	Major key1, Diatonic function1　Diatonic Scale, Chords(Triad, Tetrad)
4回目	Major key2, Diatonic function2　Harmonic analyze, functional analyze, 実践
5回目	Minor key1, Diatonic function3　Harmonic analyze, functional analyze, 実践
6回目	Minor Key2, Diatonic function4　Melodic minor, Harmonic minor
7回目	Secondary dominant1　Harmonic analyze, functional analyze, 実践
8回目	Secondary dominant2, Guidetone line　実践
9回目	テスト　筆記テスト、Project提出
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	作曲のためのHarmony2～Jazzyな作曲～		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:16年。バークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントやCM音楽も手掛ける前記記載の経験を活かし、曲作りの授業を行う。				

授業概要

「作曲のためのHarmony1 」に続き、作曲をしながらHarmonyや理論を身に付けていきます。ここでは現在のポピュラー音楽に欠かせないJazz的な要素も採り上げます。どんどん自分の音楽に取り入れ、イメージを音楽で表現することにおいて「自由」になりましょう！

到達目標

「作曲のためのHarmony1 」に引き続き作曲をしながらHarmonyや理論を身に付ける

授業計画・内容	
1回目	Review,Tension① Harmony1の復習、writing melody w/tension
2回目	Tension② Pno Voicing w/tension, Chord scale
3回目	Voice Leading①、BG line BG line w/tension
4回目	Modal interchange① Major key, Minor keyの統合,Analyze
5回目	Modal interchange② Major key, Minor keyの統合,実践
6回目	Voice Leading② Inversion,Pno voicing(w/chord tone)
7回目	SubV, Extended Dom① Analyze
8回目	SubV, Extended Dom② 実践
9回目	テスト, Project提出
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	作曲のためのHarmony3～より豊かな曲調～		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：16年。バークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントやCM音楽も手掛ける。				

授業概要

Harmony1・2の続編として、作曲をしながら今まで習得した理論テクニックを統合します。またモードテクニックなどを学び曲調のバリエーションを豊かにしていきます。ここまで修了すると大抵のポピュラー音楽のHarmonyは大方理解できると思います。トピックをどんどん自分の音楽に取り入れ、イメージを音楽で表現することにおいて「自由」になりましょう！

到達目標

Harmony1・2の続編として、作曲をしながら今まで習得した理論テクニックを統合。モードテクニックなどを学んで曲調のバリエーションを豊かにする。

授業計画・内容	
1回目	Review, Blues Chords, Diminished chords
2回目	Modal interchange
3回目	Deceptive Resolution
4回目	Mode① (Dorian, Phrygian), Bass pedal
5回目	Mode②(Mixolydian, Lydian)
6回目	Mode③(Modal interchange)
7回目	Modulation
8回目	Form
9回目	テスト, Project提出
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じてプリントを配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	作曲のためのHarmony4～実践編～		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:16年。バークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントやCM音楽も手掛ける。前記記載の経験を活かし、曲作りの授業を行う。				

授業概要

今まで習得したHarmonyを使いながら引き続き作曲を実践していきます。更なるテクニックやメロディーライティングについても採り上げます。

到達目標

今まで習得したHarmonyを使った作曲

授業計画・内容	
1回目	Review、Motife Development1
2回目	Motife Development2
3回目	Pedal、Ostinato
4回目	Constant Structure,Contiguous
5回目	UST
6回目	Compound chords1(hybrids)
7回目	Compound chords2(ambi chords)
8回目	Review
9回目	テスト, Project提出
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	初めての作曲		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:19年。作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、TV、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。前記記載の経験を活かし、作曲のアプローチ方法を教える。				

授業概要

コード進行の組み立て方、メロディに対する和音の付け方を学びます。

到達目標

作曲を体験。DAWソフトでの楽曲制作

授業計画・内容	
1回目	DAWソフトの簡単な操作方法
2回目	DAWソフトの簡単な操作方法
3回目	コードの押さえ方(トライアド)
4回目	コードの押さえ方(トライアド)
5回目	16小節の明るい曲の制作
6回目	16小節の明るい曲の制作
7回目	16小節の暗い曲の制作
8回目	16小節の暗い曲の制作
9回目	譜面と楽曲の提出
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	打ち込みの為のベースライン		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年。ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。前記記載の経験を活かし、ベースに関しての授業を行う。				

授業概要

ベースラインの打ち込みには、DTMの技術はもちろん、色々なパターンのベースラインを知っている必要があります。その格好良いパターンをたくさん紹介します。(実際に打ち込む授業ではありません)

到達目標

さまざまなベースラインの引き出しを作る。

授業計画・内容	
1回目	ルート音のみを使ったパターン
2回目	ルート＋5度を使ったパターン
3回目	ルート＋6度、ルート＋7度を使ったパターン
4回目	3和音のコード・トーンと4和音のコード・トーン
5回目	クロマチックアプローチ
6回目	メジャーペンダフレーズ
7回目	マイナーペンタフレーズ
8回目	オンコードについて
9回目	復習と確認テスト
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	普通の歌の授業		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース共通				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴:20年。ベーシスト／ヴォーカリストとして自身のバンド竜理長などで活動。また渡り廊下走り隊など、楽曲提供も多数。サポート・ミュージシャンとして大槻ケンヂ、DIAMOND☆YUKAIなどをサポート。またベース教則本も執筆する。前記経験を活かし、歌唱の授業を行う。				

授業概要

まず姿勢を整えて呼吸を10分ぐらいやります。その後発声練習をやります。順番に自分の持って来てくれた課題曲をレッスンしましょう。

到達目標

歌唱技術の向上

授業計画・内容	
1回目	発声練習、歌唱レッスン
2回目	発声練習、歌唱レッスン
3回目	発声練習、歌唱レッスン
4回目	発声練習、歌唱レッスン
5回目	発声練習、歌唱レッスン
6回目	発声練習、歌唱レッスン
7回目	発声練習、歌唱レッスン
8回目	発声練習、歌唱レッスン
9回目	発声練習、歌唱レッスン
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	必要に応じて資料を配布。

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	癒し！？アンビエント・ミュージックに挑戦！！		授業形態 / 必・選	実技	選択
	学則別表上表記	Style Selection Ⅰ,Ⅱ	年次	1,2年次、研究科	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（18単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース対象				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☑	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：14年。ギタリストとしての活動で得た豊富な音楽経験を基に現在はPsychedelicTrance アーティスト「CYLON」として国内外の大型フェスを中心に世界規模で活躍中。前記記載の経験を活かし、トラック制作の授業を行う。				

授業概要

環境音楽と言う訳語が充てられる事も多いambient music。自然界の環境音と人工環境音を素材として用いる事が多いジャンルだが、そのスタイルに制限は無く、明確な境界線も存在しない。自由度の高い制作を行える点からも、必然的にエレクトロニカ等とも繋がりを持ちつつ、能動的に空間そのものを自然の音や人工音の響きでデザインする音楽、ambient music。なんとも捕らえ所も無く摩訶不思議な世界を、自らのオリジナルな発想で旅してみよう！！

到達目標

ambient musicの作成

授業計画・内容	
1回目	ambient musicとは何かを音源や資料を通して学ぶ。スキルチェック。
2回目	シンセによる音作りを学ぶ。
3回目	生楽器音を含むトラックの空間的処理を研究。
4回目	周波数帯的バランスの重要性を知る。
5回目	自然環境音やフィールドレコーディングされた音を取り入れよう。
6回目	控えめかつ心地よいリズムの研究。持続音ループがもたらす効果。
7回目	持ちのよいストーリー作りの基本を研究しつつ自作曲の制作。
8回目	自作曲の制作。（ストーリー展開に注視）
9回目	自作曲の制作。（ストーリー展開に注視）作品提出
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
使用教科書	必要に応じて資料を配布。